

みなみかぜだより

令和三年

9月号



余談ですが、、、神輿作成について、施設管理係一名が製作日数十日、細かい部分の作成に何度となく苦戦し何とか完成したそうです。ひと夏しかお目にかかれな
のが残念なぐらい立派な神輿でした。



第二十四回 みなみかぜ夏祭り

新型コロナウイルスの爆発的な感染状況を踏まえ、二年連続施設内々での開催とさせて頂きました。感染対策で距離を保ち、祭りの規模も縮小しての開催でしたが職員が手作り「神輿」を作成し、神輿隊二名と踊り隊十三名により入所フロアからデイケアフロアをおはら節の曲に合わせて練り歩きました。皆さん踊り隊が通ると一緒に手踊りや拍手、また事前配布の祭うちわで音頭をとったり、笑顔で楽しんでおられました。来年こそはコロナが終息し、ご家族の方が来場できる事を願います。



かき氷で涼しました

チューリップ・ゆり通りでは、三時のおやつでかき氷を食べました。昔ながらのかき氷機で職員が汗をかきながら皆さんの目の前でかき氷を作りました。梅・メロンのシロップに練乳・アンコをトッピングし、皆さん喜んで食べておられました。季節感を少しでも味わえてもらえたのではないのでしょうか。



アイス食べました

すみれ通りでは、八月二十五日アイスクリームイベントを行いました。バニラアイスの上に小豆・チョコソース・ミカン等を利用者様に自らトッピングしてもらい召し上がって頂きました。初めての試みでしたが皆さん「美味しい、美味しい」と言われ楽しんで頂けたようです。

